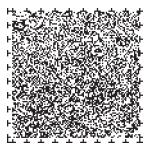


第47号



## 今号のトピック

- ◆新しい講座のご紹介とご報告
- ◆手話カフェ『はこねやま』  
スター・バックス×手話体験型カフェ報告  
2・3ページ  
12月8日(木)、新宿区聴覚障害者協会・新宿区手話サークル・新宿区立障害者福祉センターの共同主催で開催した手話カフェのレポートです！



## ◆スマイルインタビュー 4ページ

高田 美希さん／植松 勤子さん



今回は、今回は講座にもよく参加をされている女性お二人、植松さん、高田さんにご登場いただきます！

## 新しい講座のご紹介とご報告！

平成28年5月11日(水) 13時～15時 全1回開催  
自由にフラワーアレンジメント講座



お花の束の中から、好きな花を自由に選んで思うままにフラワーアレンジメントを作成する講座です。自宅に持ち帰ったお花に、お水をあげて長期間楽しむことができて良かった、という声を頂きました。



平成28年7月12日(火) 10時～12時 全6回開催  
第2・第4火曜日 羊毛フェルト講座



羊毛フェルトとは、羊毛を特殊な針でつくることで、繊維を絡めながら思い通りの形をつくる手芸の一種です。今回は大きなウサギの人形と、花びんを作りました。ユザワヤ芸術学院の先生が丁寧に教えてくれました。  
作品はセンター祭でも展示しました。



平成28年9月28日(水) 10時30分～12時 全1回開催  
フラワーセラピー講座



フラワーセラピー研究会より講師をお招きしました。オーストラリアの「ワイルドフラワー」のプリザーブドフラワーを使用し、クラフト紙で作った枠にお花を挿してモチーフを作成しました。  
研究会からのボランティアさんも沢山参加してください、和気藹々とした楽しい講座となりました。  
現在2F廊下に作品の一部が展示されていますのでご覧下さい。



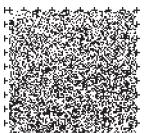
平成28年12月6日(火) 10時～11時30分 全13回開催  
毎週火曜日 かるがも体操講座

大人気の軽体操・いきいき健康講座に続いて、今年度から体操講座がひとつ増えました。「体がかるくなるかも」と命名された、「かるがも体操講座」です。センター職員が講師を担当しています。床に敷いたマットの上で、ストレッチなど、誰にでもできる簡単な体操を行っています。受講生さんからは、適度な運動のおかげか夜良く眠れるようになったという声が届いています。

平成29年1月16日(月) 13時30分～15時 全9回開催  
毎週月曜日 フラダンス講座



1月に始まったばかりの講座です。老若男女問わず楽しめるフラダンス、現在参加者の男女構成はほぼ半々。最初は「自分にはできるか不安・・」とおっしゃっていた方も、今ではすっかりハマった！楽しい！とのこと。座ったままでも大丈夫です。講座終了後はみなさん笑顔がはじけています。ご興味ある方はご覧ください。



# 手話をたのしもう！ 手話カフェ『はこねやま』

## — スターバックス×手話体験型カフェ — 報告

12月8日（木）14時～17時 新宿区聴覚障害者協会・新宿区手話サークル・新宿区立障害者福祉センターの共同主催で、手話カフェ「はこねやま」を開催しました！



### 手話は、「手のことば」です

「手話」とは手を使って話す「手のことば」です。耳の聞こえない方は、声を出して話すことが難しいので、何かを伝えるときは目で見てわかる方法を使う必要があります。手話は、手の形や動きによってさまざまな意味をあらわすことができる大切なコミュニケーションの一つなのです。（※「話そう！手のことば」より要約抜粋）



↑当日配布したパンフレット（イラスト：いそこ「高次脳機能障害者グループたけとんぼ」所属）と手話に関するパンフレット3冊。東京都福祉保健局より提供していただきました。挨拶から指文字まで掲載されているので、「わかりやすい」と初心者の方から好評でした。

### スターバックスコーヒーさんが、交流企画に参加

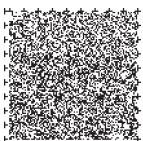
社会貢献と地域のコミュニティの人ととのつながりをめざす環境への取り組みを行っているスターバックスさんが手話のつながりに賛同してください、企画段階から今回のカフェに参加してくださいました。

当日は、希望の飲み物の名前を来場者ひとりひとりが「手話で表現して注文」していただいたのですが、スターバックスコーヒーのみなさんは飲み物の提供のみならず、お客様に手話で返答してくださったり、各テーブルに入り、会場と一緒に、おおいに盛り上げてくださいました。

また受付で手話をレクチャーしたり、一緒に注文をうける学生のボランティアさんも活躍してくれました。



↑受付前にたくさんの行列。  
メニュー表を見ながらみなさん手話の練習です。

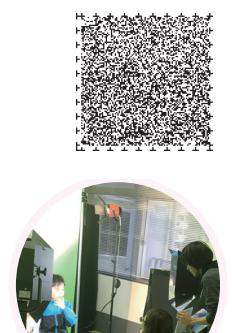


### 会場内の様子

当日は、予想を上回る160人を超える参加がありました。

新宿区聴覚障害者協会と新宿区手話サークルの方々が中心となり、手話のレクチャーを通して、来場者を手厚くおもてなししました。テーブルは常に満席で「手話の語源をテーマとした「手話クイズ」（景品は宝塚大学さんによるクロマキー体験で、写真を加工してハガキにしてくださるもの）や「NHK東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」」手話ソングのレクチャーと合唱、また、宝塚大学の学生さんの力作を展示した「作品展」など数々のプログラムがあり、会場内は終始和やかな雰囲気でした。

→「手話クイズ」と「手話ソング合唱」の様子です。  
どの場面でもみなさん「手話」に関心を持って、熱心に参加してくださっている姿が印象的でした。

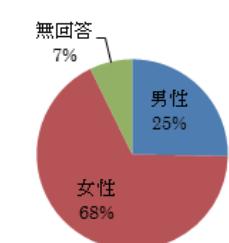


宝塚大学の「クロマキー体験」の景品です  
撮影をしてから加工してくれました。

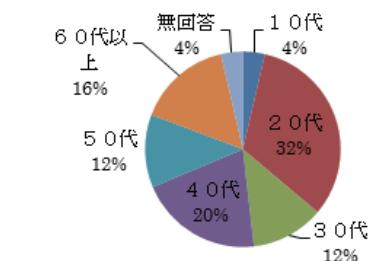
### 手話カフェ「はこねやま」アンケート結果（回答数83部）

#### ＜あなたについて教えてください＞

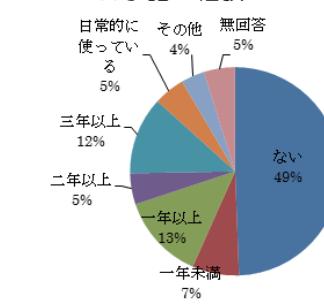
##### ☆性別



##### ☆年齢



##### ☆手話の経験



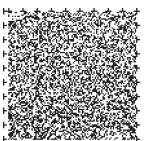
・手話経験のない方（なし、もしくは手話経験1年未満）の参加が半数越えていました。

・20代～30代で半数程度の44%の参加と大きい分布を占めたところから、今回はスターバックスさんの協力もあり、若い方に関心をもっていただけたイベントだった事がわかります。

#### ＜感想（一部要約抜粋）＞

- ・スタバのスタッフから接客の対応など職場のお話しが聞けてよかったです。楽しいひとときをありがとうございます。
- ・とても良いと思いますが、一年に一度だけと聞きました。コーヒー代払うのはかまわないので、もう少し、時々やって欲しいと思います。
- ・手話で話す機会を増やしたいので。
- ・会社の休みを利用してきたので少ししか居ることができます、残念でした。
- ・とても楽しかったです。こういう形なら、手話教室などとはまた違って「週一回出席」等とはなっていなくて、「たまになら参加できる」という人でも来られる点が良いと思います。また、参加する人の顔ぶれが多彩という点でも良いと思います。私のわからない手話を聴覚障害の方が丁寧に教えてくださって嬉しかったです。私も聴覚障害や手話とは縁の無い方や、地域の方ももっとたくさん参加してくださるといいなあと思います。
- ・区の講習会でチラシを頂き、参加しました。企画たちあげの背景を聞き手話に興味をもってこうして沢山の人々に知る、参加できる企画を実現できることは素晴らしいと思います。今後も是非このような企画をお願いしたいです。できれば地方でもやって頂ければ。
- ・大学の手話サークルが卒業になるので卒業後もこのように手話に関われたら良いなと思いました。
- ・手話を知っている人も知らない人も日常的に使っている人、様々でしたが、一緒に覚えたり教えたり教わったりして、楽しく過ごせました。コーヒーを手話を通じてお渡しすることができて、地域の人たちのつながりを感じました。
- ・手話ってやってみると楽しいものなんですね。ひとつずつおぼえていきたいです。手話で話しが通じたら嬉しいでしょうね。
- ・明るいかたばかり気軽に話しかけられました。手話BOOKをいくつかそろえて頂いたので初めて手話を覚えていくのに助かります。
- ・楽しみながら学べてとてもよかったです。実際に聴覚障害を持っている方と手話でお話してお互いに話がかけました。
- ・手話サークル×カフェは始めての取り組みだったので、どんな風になるのだろうと思っていましたが、楽しかったです。

※その他、アンケート結果や当日の報告はセンターホームページにも掲載予定です。





## スマイル インタビュー



植松 私も帯締めを作っています。結婚をされる方や、成人を迎える方など、お祝い用としてプレゼントするんですよ。

M・i 自分で作ったものをプレゼントするのついて、どうですか？

植松 喜ばれる！私は、杖ひもも作ったよ。

(高田) 美希さんの杖に、今付いているのは…？

植松 これは（植松）勤子さんからのプレゼントなんですよ！

植松 美希さんの杖の見て、組む糸の色合いを考えたんです！

植松 そうなんですか！とてもきれいですね！

植松 美希さんの杖の見て、組む糸の色合いを考えたんです！



高田 染め物メインで、今は色も柄も多いけど、昔は1色だけでした。大きい布を染めるところから進化して、今はTシャツ、ティッシュユースなども染めています。

M・i 意見の提案もするのですか？

植松 私は控えめかな…（笑）。

植松 ティッシュユースは私が提案しました！

植松 そのほかの活動はありますか？

植松 クリスマスパーティーも楽しかったです。

M・i ケーキのデコレーション対決では、お二人のいるチームが優勝されたそうですね！

高田 お砂糖の飾りを付けたり、あと、いちごソースを上から掛けたり…。

植松 そこは私が考えました♪♪♪

高田 いそちゃんの顔がドヤつてた（笑）

M・i 活動を楽しめていますね。竹とんぼはどういう存在ですか？



（敬称略）

高田 今日はよろしくお願ひします。センターを積極的にご利用されている方へのインタビューシリーズ8回目です。

今日は竹とんぼなど、講座にもよく参加をされている植松さん、高田さんに登場頂きます！

植松 私は、講座竹とんぼ（高次脳機能障害支援）から始めました。組みひも

講座は私もやっていますよ。

M・i お二人とも、組みひも講座に参加されていいがですか？

高田 おもしろくて、いろいろなものを作りました。祖母のために、帯締めを作ったのですが、大喜びでした。

M・i お二人とも竹とんぼのメンバーですね。

高田 竹とんぼではどのようなことをやるのです。

植松 みんなで協力し合って、意見が通る、通らないに関わらず、自由に言い合えるのがいいです。この雰囲気が好きです。

高田 身体が良くなつて、竹とんぼに自分の力を反映させてもらえたたら、と思っています。

高田 貴重なお話、ありがとうございました。

取材を終えて

インタビュー中、お二人で楽しそうにお話をされて下さいました。講座に参加する中で、ご自身の障害と向かい合い、乗り越えようとする中で得られた笑顔や、達成感にあふれた言葉は、大きな重みを感じます。センターでの出会いと、お二人にとって有意義な場所であることを、大事にしていかなければ、改めて感じました。

